

浦和区自治会連合会

平成29年度研究発表会 報告書

- 1 日時 平成30年2月16日（金） 午前10時から11時30分まで
- 2 場所 市民会館うらわ 503・505室
- 3 出席者
藤枝会長・高橋副会長・石井副会長 他会長43名で計46名の出席であった。
- 4 開会
 - (1) 高橋副会長より開会の挨拶があった。
 - (2) 藤枝会長より防災について各地区で研究した成果を発表していただきたい旨の挨拶があった。
 - (3) 石井副会長より発表10分、質疑5分で進めるとのオリエンテーションを行った。
- 5 発表資料 発表内容の詳細は研究発表会開催要領を参照のこと。
- 6 発表概要
 - (1) 北浦和・針ヶ谷地区（北浦和五丁目自治協力会 志水正会長）
 - ・災害時の避難場所が地域の学校だけではなく、保育園、会社、老人施設等が避難場所指定にならないか検討してもいいのではないか。
 - ・避難行動要支援者名簿は個人情報保護の取り扱いで役に立たない。会長宅に保管している。
 - (2) 中央地区（高砂二丁目自治協力会 高橋明会長）
 - ・高砂一・二丁目は高層ビルばかりで一軒家は少ないので、防災訓練を実施しても人が集まらない。
 - ・自治会によっては防災倉庫がない。公園内に防災倉庫を設置したいが市の規制が厳しい。自治連から市に公園内に倉庫が設置できるよう要望してはどうか。
 - (3) 常盤地区（常盤一・二丁目自治会 藤倉幸親会長）
 - ・さいたま市防災課の職員を講師として「我が家の防災対策」について、さいたま市の防災ガイドブックを資料として講座を行った。
 - (4) 元府趾地区（前地自治会 佐々木弘会長）
 - ・まちと家庭の身近な防災総点検として、地域、家庭で防災についてどのような取り組みが必要か具体的な資料を提示して説明があった。また、元府趾地区では2・3月に防災キャンペーンとし

てポスター・回覧を作成し、10地区でポスター掲示・チラシの回覧を行っている。

(5) 木崎第一地区（領家七丁目自治会 原口卓也会長）

- ・地震発生時の対応について、どのようなことが必要かの説明があった。
- ・地域防災計画を作成したが、避難・要援護者の確認に役立てていく。また、避難所だけでなく在宅避難についても考える必要があるとの説明があった。

(6) 木崎第二地区（上木崎六丁目自治協力会 村田二郎会長）

- ・火災警報器の設置・消火器の点検のほか、平成29年度より感震ブレーカーの設置を行っている。平成30年度に設置が完了する。
- ・総務課で確認したところ、災害時における市と東電の間で協定を結んだので、災害時の通電火災は発生しない、よって感震ブレーカーの設置は必要性なしとのことを聞いたので、ブレーカー設置が無意味になった。

質疑応答

- ・前地自治会の佐々木会長より、市と東電で協定を結んだから通電火災が発生しないので、感震ブレーカー設置の必要がないという発言には納得がいかない。
- ・村田会長より、区総務課で協定の中で東電が一軒一軒点検してから復旧するので、通電火災は発生しないことを確認している。
- ・この質疑については、区自治連より浦和区総務課に内容を確認し、文書にて回答をもらうこととした。

7 まとめ 今日の発表会のまとめとして、最後に藤枝会長より本日の発表会の総括があった。

8 石井副会長が閉会の宣言をした。

平成30年2月20日 浦和区自治会連合会 副会長 石井桂太郎